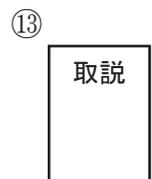
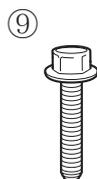
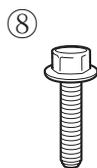
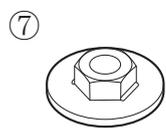
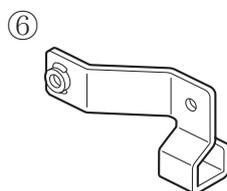
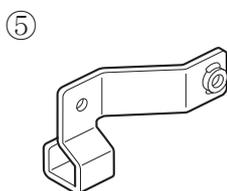
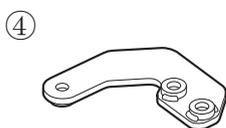
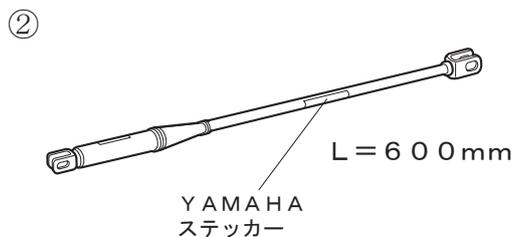
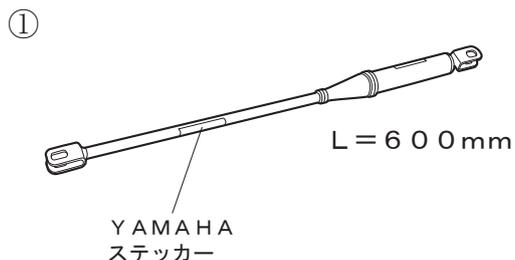


【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	パフォーマンスダンパー (FRONT)	1
②	パフォーマンスダンパー (REAR)	1
③	フロントブラケット (L)	1
④	フロントブラケット (R)	1
⑤	リアブラケット (L)	1
⑥	リアブラケット (R)	1
⑦	プレートナット	2
⑧	フランジボルト a (M10×30mm)	4
⑨	フランジボルト b (M10×35mm)	4
⑩	フランジボルト c (M10×25mm)	2
⑪	フランジナット (M10)	4
⑫	ステッカー	1
⑬	取付・取扱説明書	1



本書本文中の使用部品番号は
構成部品表に準じます。

【必要工具】

- ・ドライバー + ・スタッドドライバー + ・メガネレンチ 14mm ・ドリル
- ・オフセットレンチ 17mm ・エクステンションバー ・ヘックスレンチ 5mm
- ・ボックスレンチ 10mm、14mm ・トルクレンチ ・ラチェットレンチ
- ・クリップリムーバー ・エアソー ・ベルトサンダー ・やすり ・スケール
- ・イソプロピルアルコール ・ウエス

I. ステッカーの貼り付け

- ①パフォーマンスダンパー (FRONT) のシリンダー部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。
- ①パフォーマンスダンパー (FRONT) のシリンダー部に⑫ステッカー (大) を貼り付ける。
※使用するパフォーマンスダンパーを間違えないように注意すること。

[使用部品]

⑫ (1)



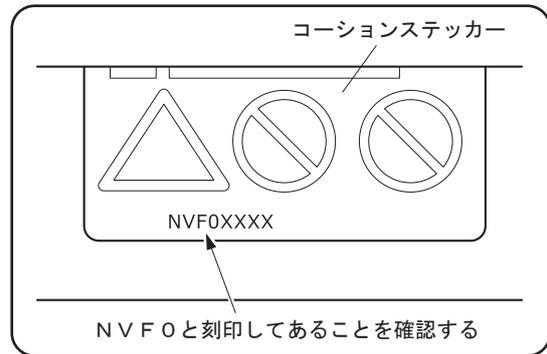
ステッカー

※⑫ステッカー (小) は
ご自由にご使用下さい。



⑫ステッカー (大)

⑫ステッカー (小)

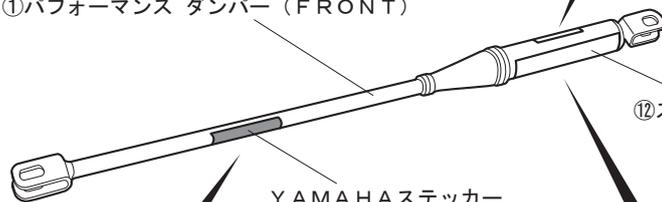


コーションステッカー

NVF0XXXX

NVFOと刻印してあることを確認する

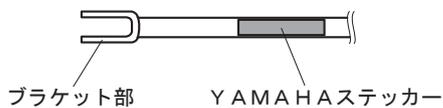
①パフォーマンスダンパー (FRONT)



⑫ステッカー (大)

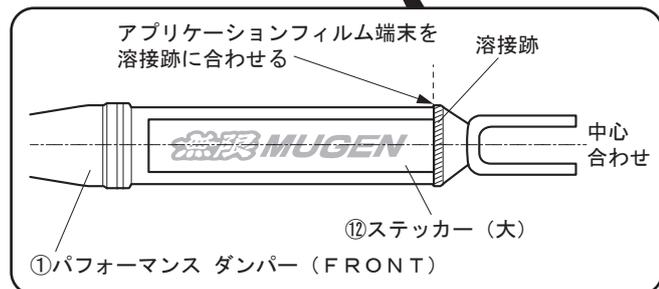
YAMAHAステッカー

[ブラケット部とYAMAHAステッカーの位置関係]



ブラケット部

YAMAHAステッカー



アプリケーションフィルム末端を
溶接跡に合わせる

溶接跡

中心
合わせ

⑫ステッカー (大)

①パフォーマンスダンパー (FRONT)

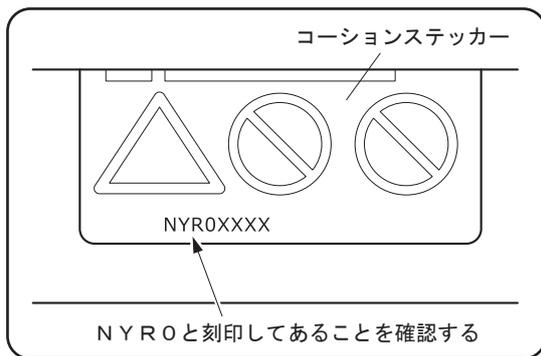
3. ②パフォーマンスダンパー（REAR）のシリンダー部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。
4. ②パフォーマンスダンパー（REAR）のシリンダー部に⑫ステッカー（大）を貼り付ける。
※使用するパフォーマンスダンパーを間違えないように注意すること。

[使用部品]

⑫ (1)



ステッカー



※⑫ステッカー（小）はご自由にご使用下さい。



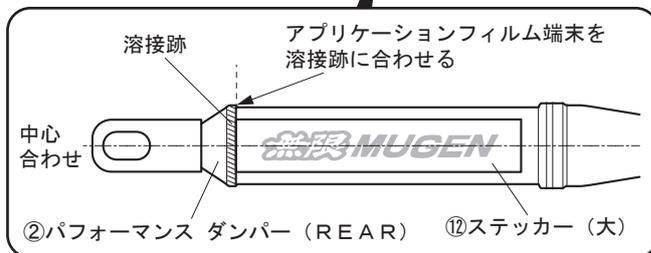
⑫ステッカー（大）

⑫ステッカー（小）

②パフォーマンスダンパー（REAR）

YAMAHAステッカー

⑫ステッカー（大）



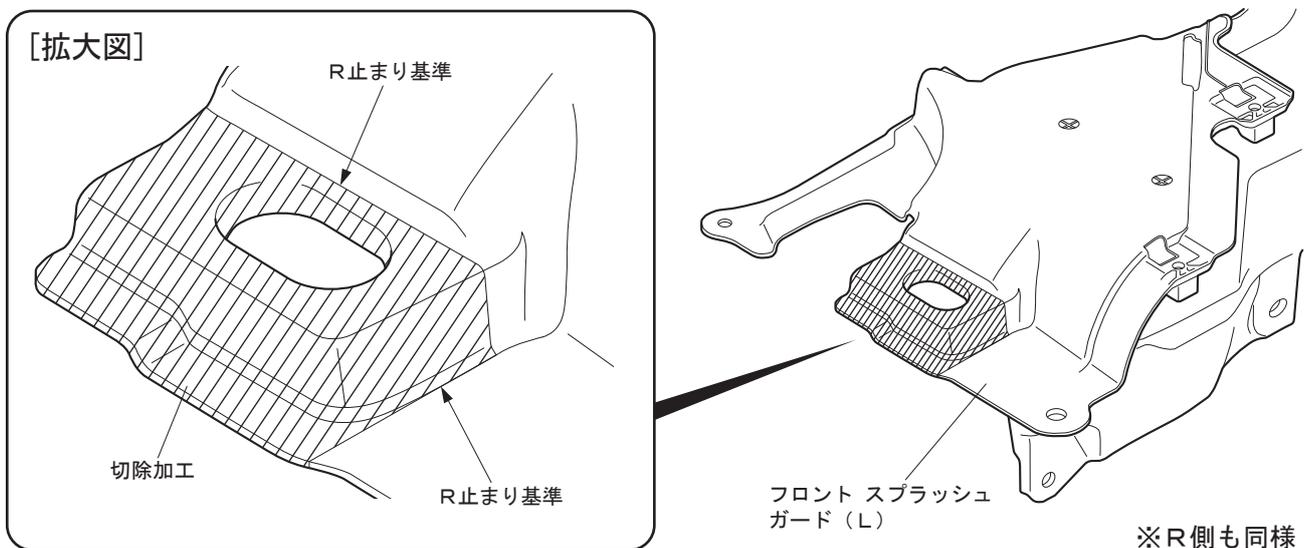
[ブラケット部とYAMAHAステッカーの位置関係]



II. フロント側の取り付け準備

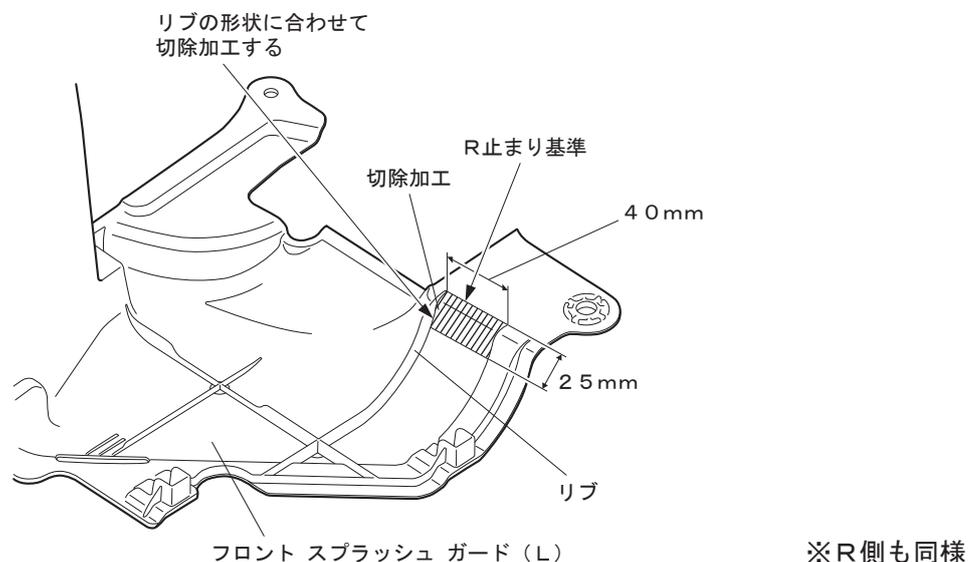
- 《注意》・ボルト、ナット類が錆び付いてゆるみにくい場合は、無理な力を加えずスプレー式の潤滑油等でゆるみやすくしてから作業を行うこと。
- ・素手での作業は火傷やケガの原因となる為、必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 - ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
 - ・潤滑油を使用した場合は、作業後油分を完全に除去すること。

1. 車両をリフトアップまたはジャッキアップする。（サービスマニュアル参照）
※ジャッキアップの際は、リジトラックを使用し、車両が安全な状態であることを確認すること。
2. エンジン アンダー カバーがある場合は取り外す。（サービスマニュアル参照）
3. フロント スプラッシュ ガード (L/R) を取り外す。（サービスマニュアル参照）
4. フロント スプラッシュ ガード (L/R) の下図斜線部をエアソー等を使用し、切除加工する。



5. 加工部周辺のバリを除去する。
6. フロント スプラッシュ ガード (L/R) の下図斜線部をドリルとエアソー等を使用し、切除加工する。

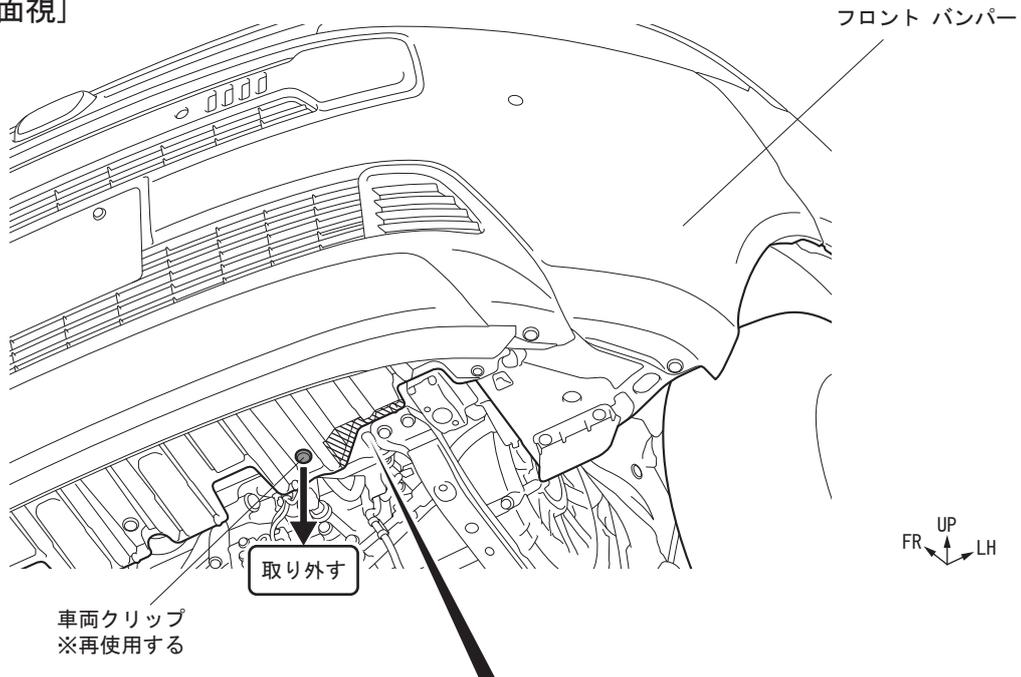
[裏面視]



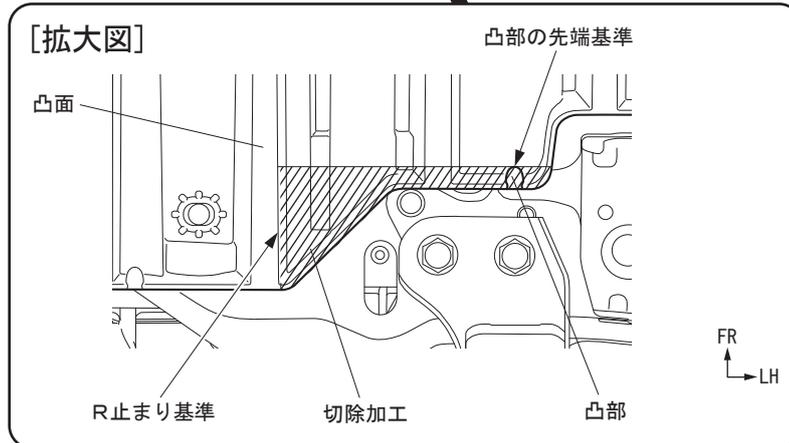
7. 加工部周辺のバリを除去する。

8. フロント バンパー下面の図示位置の車両クリップを片側1か所取り外す。
※取り外した車両クリップは再使用する為、紛失や破損に注意すること。
9. フロント バンパー下面の下図斜線部をエアソー等を使用し、切除加工する。

[下面視]



[拡大図]

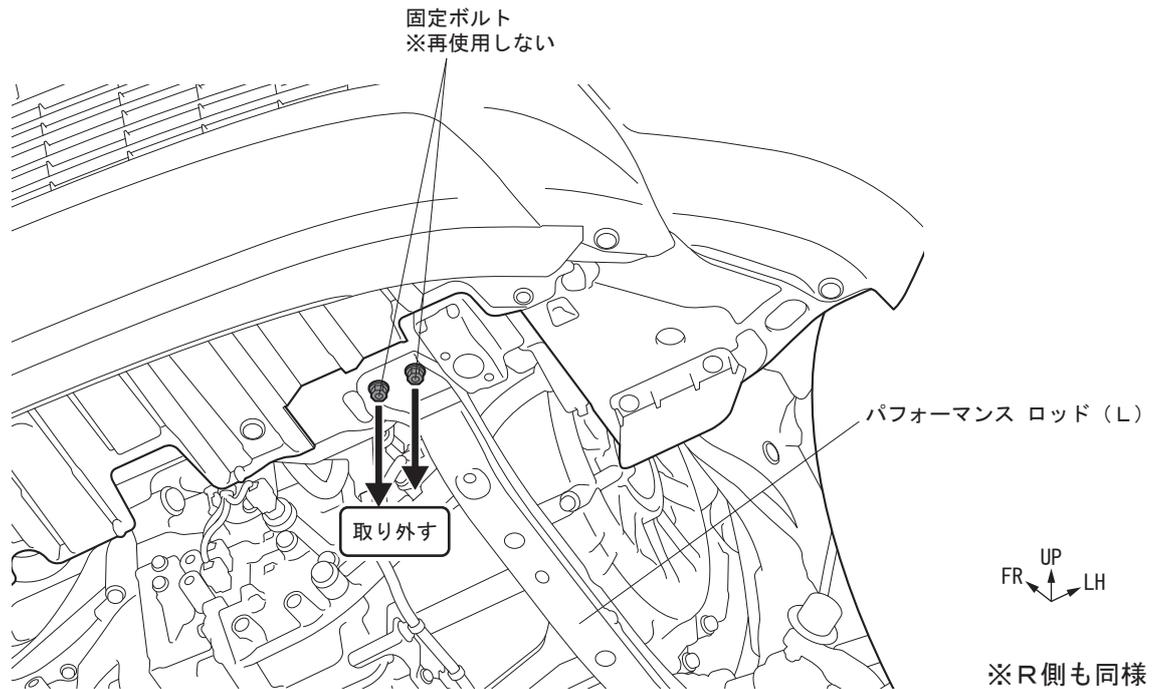


※R側も同様

10. 加工部周辺のバリを除去する。
11. II-8で取り外した車両クリップ片側1か所を復元する。

1 2. パフォーマンス ロッド (L/R) 固定ボルト片側 2 本を取り外す。

[下面視]

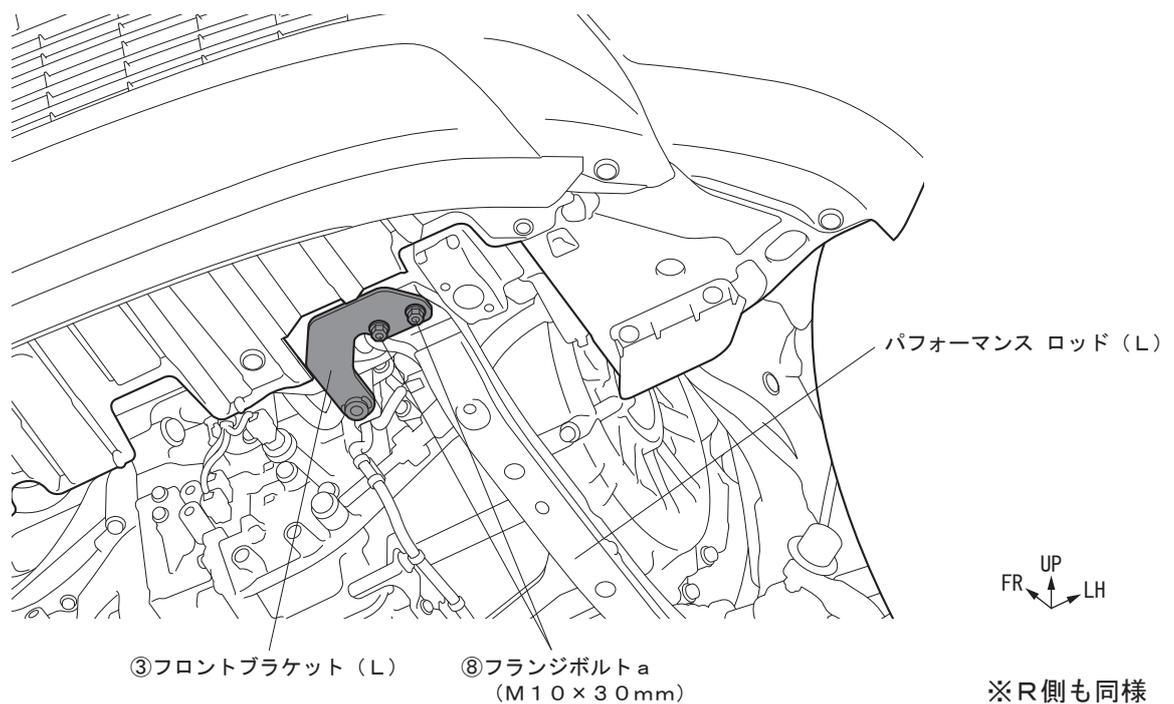


1 3. ③④フロントブラケット (L/R) を⑧フランジボルト a (M10×30mm) 片側 2 本で車両に仮締めする。

[使用部品]

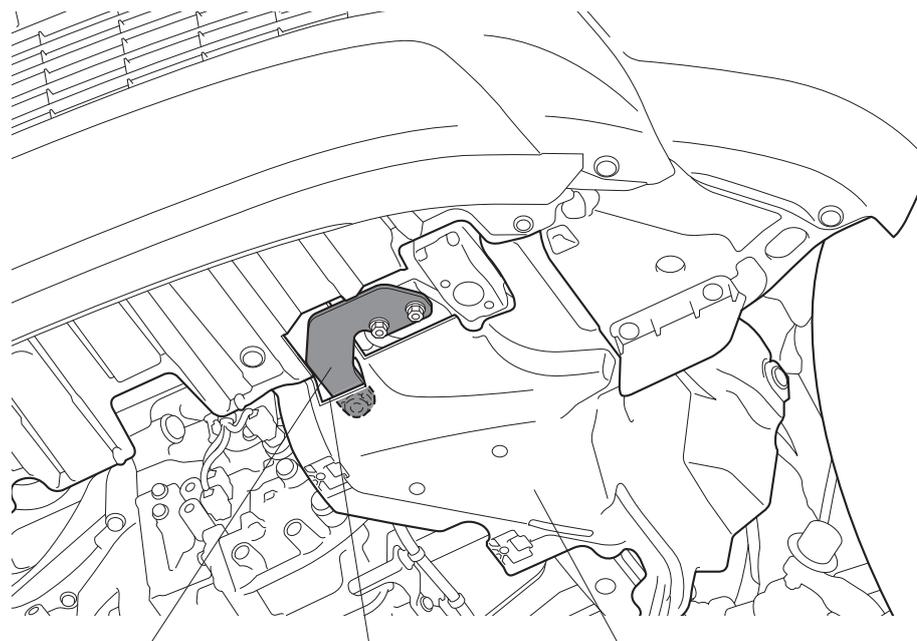


[下面視]



1 4. フロント スプラッシュ ガード (L/R) の加工穴に③④フロントブラケット (L/R) を挿入し、フロント スプラッシュ ガード (L/R) を復元する。

[下面視]



③フロントブラケット (L)

加工穴

フロント スプラッシュ ガード (L)



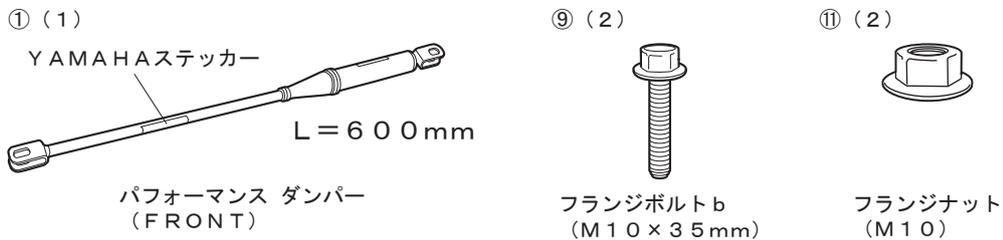
※R側も同様

Ⅲ. フロント側の取り付け

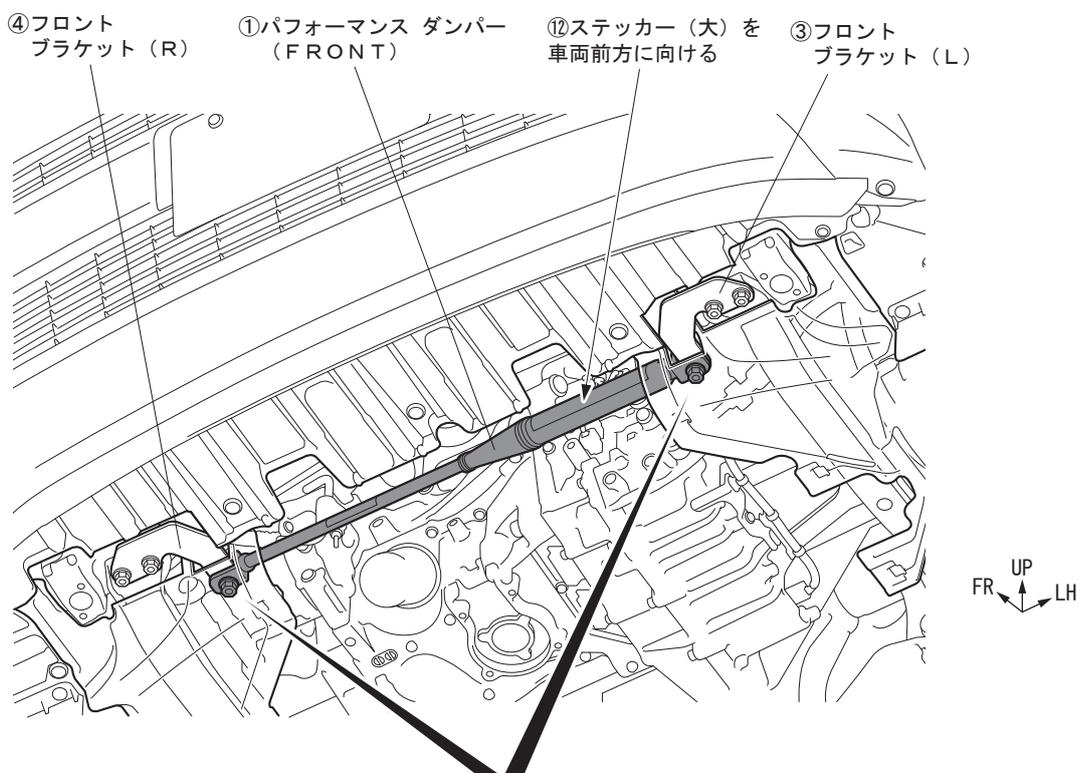
- 《注意》・素手での作業は火傷やケガの原因となる為、必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。

1. ①パフォーマンスダンパー (FRONT) を⑨フランジボルト b (M10×35mm) 2本と⑪フランジナット (M10) 2個で③④フロントブラケット (L/R) に仮締めする。
 ※取り付けるパフォーマンスダンパーを間違えないように注意すること。

[使用部品]



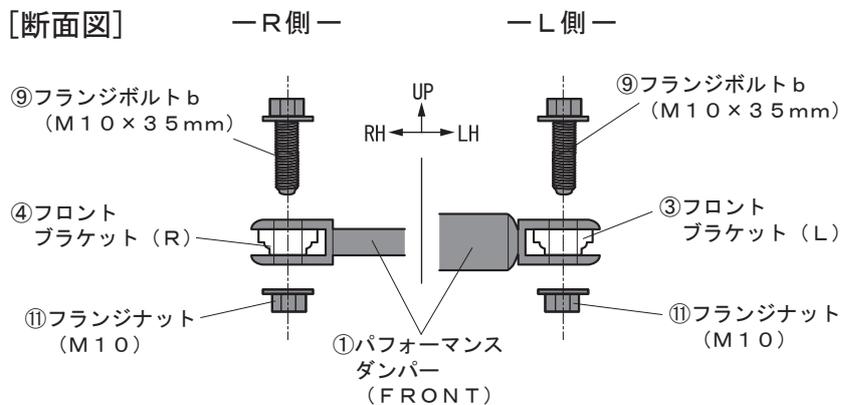
[下面視]



注意

インパクトレンチ
使用禁止

[断面図]



2. 取り付け位置や各部に干渉がないことを確認する。
3. 車両を1G接地状態（タイヤ4輪が接地した状態）にし、II-13で仮締めした⑧フランジボルトa（M10×30mm）片側2本、III-1で仮締めした⑪フランジナット（M10）片側1個を下記指定トルクで本締めする。

⑧フランジボルトa（M10×30mm）
締め付けトルク：39N・m

⑪フランジナット（M10）
締め付けトルク：40N・m

注意 車両（4輪）が水平な場所で1G接地状態で締め付け作業を行うこと。

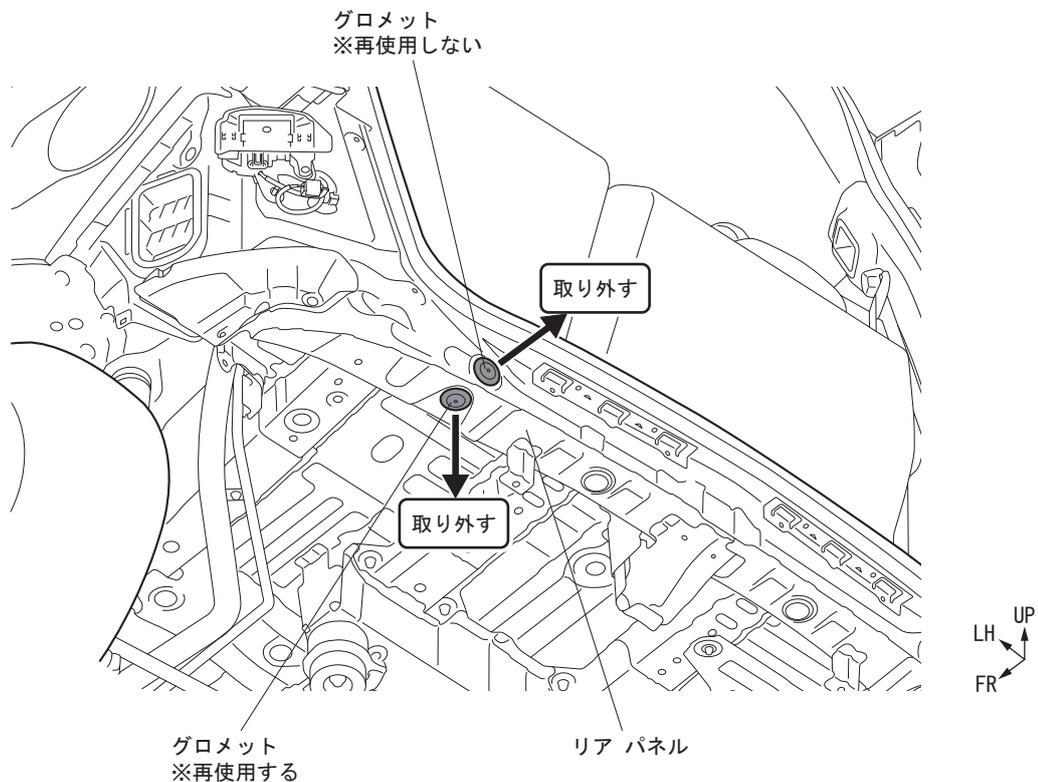
4. 取り付け状態が完全か確認する。
5. エンジン アンダー カバー（ある場合）を復元する。
6. 車両をリフトダウンまたはジャッキダウンする。

IV. リア側の取り付け準備

- 《注意》・ボルト、ナット類が錆び付いてゆるみにくい場合は、無理な力を加えずプレー式の潤滑油等でゆるみやすくしてから作業を行うこと。
- ・素手での作業は火傷やケガの原因となる為、必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 - ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
 - ・潤滑油を使用した場合は、作業後油分を完全に除去すること。

1. リア バンパーを取り外す。（サービスマニュアル参照）
2. リア フロアー アンダー カバーがある場合は取り外す。（サービスマニュアル参照）
3. グロメット片側2か所を取り外す。
※取り外したグロメット片側1か所は再使用する為、紛失や破損に注意すること。

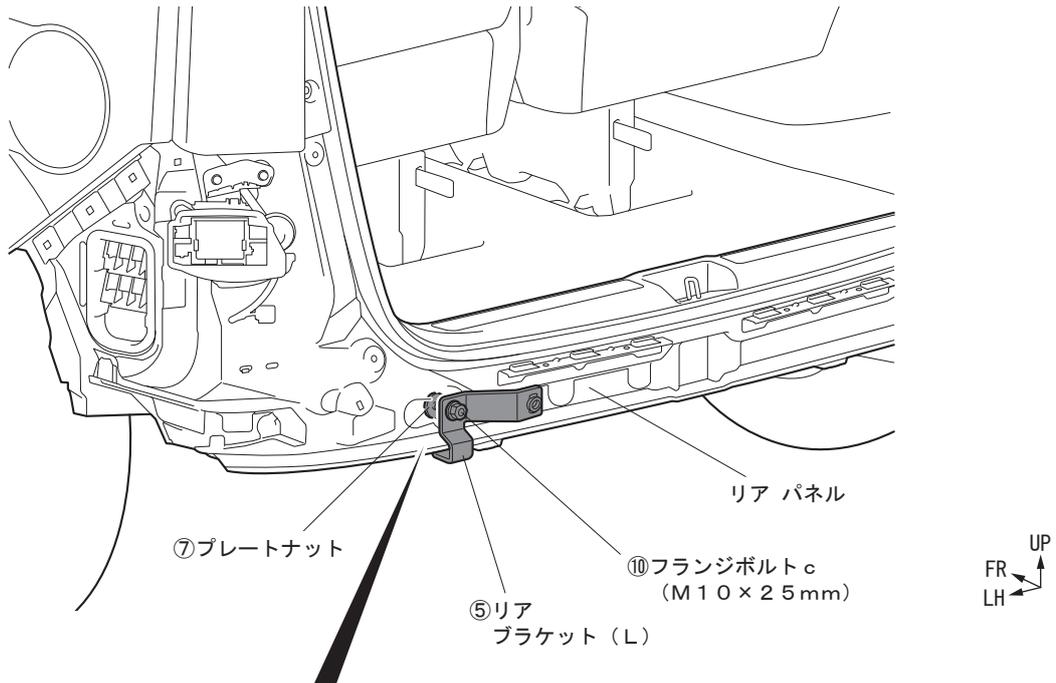
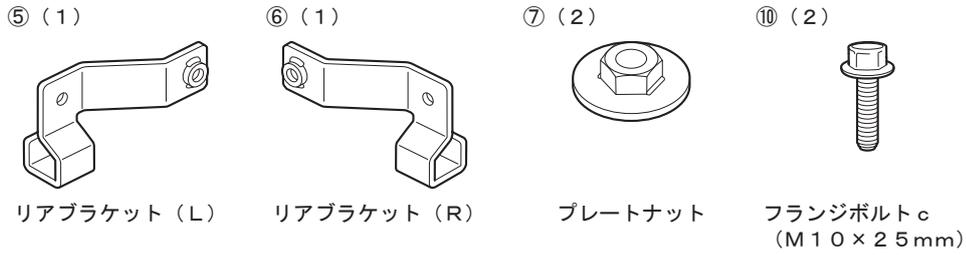
[下面視]



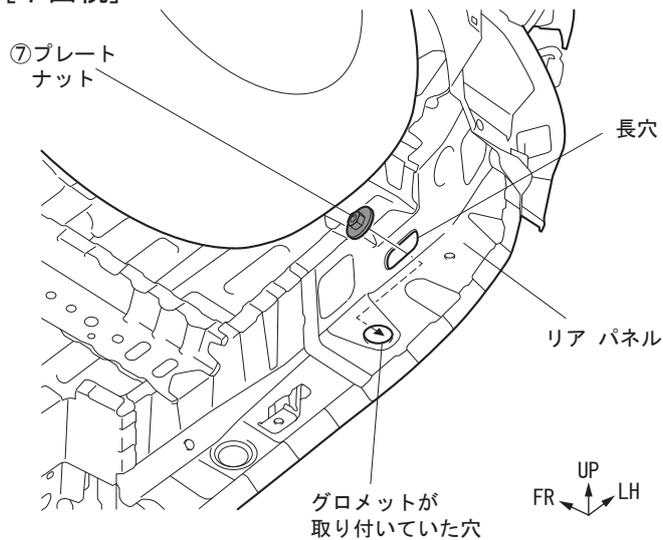
※R側も同様

4. リア パネルの長穴から⑦プレートナット片側1枚を挿入する。
5. ⑤⑥リアブラケット (L/R) を⑩フランジボルトc (M10×25mm) 片側1本とリア パネルの長穴に挿入した⑦プレートナット片側1枚ではさみ込むように仮締めする。

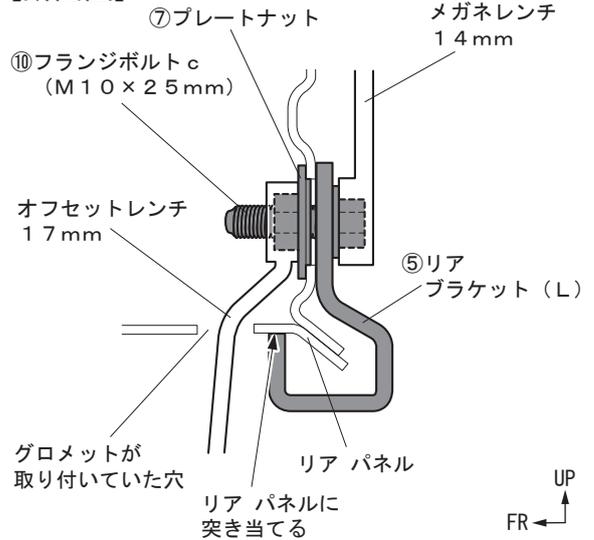
[使用部品]



[下面視]



[断面図]



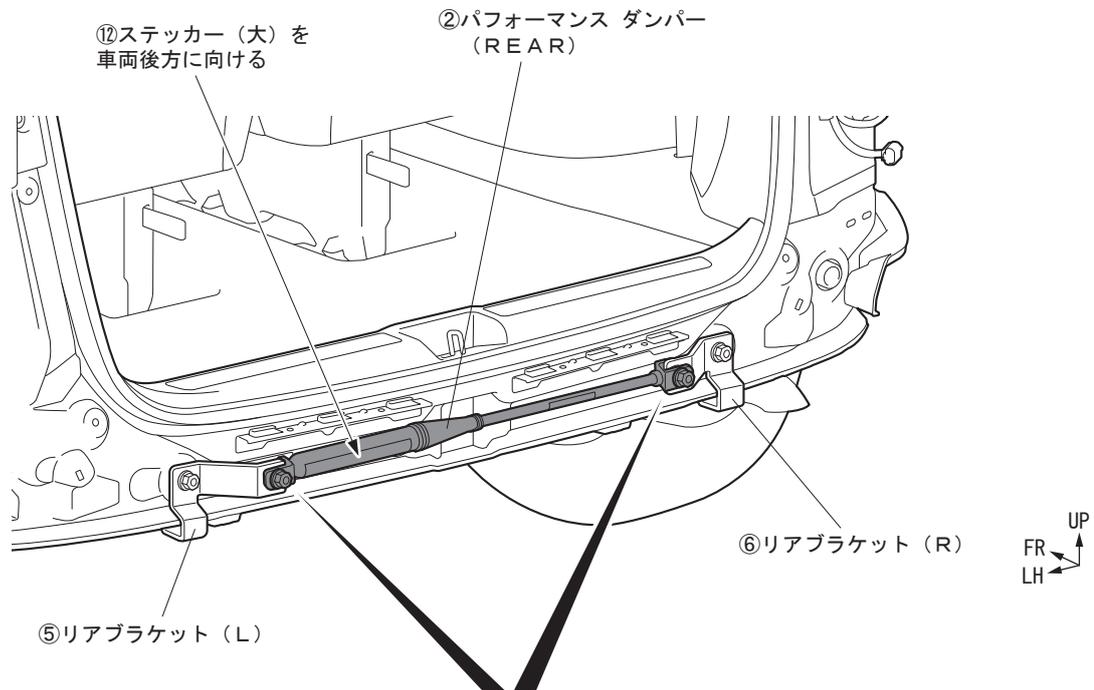
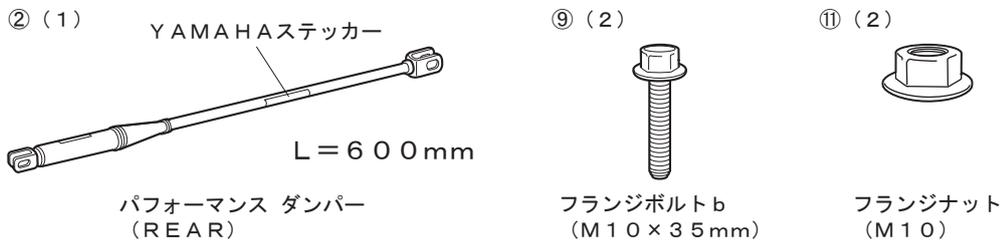
※R側も同様

V. リア側の取り付け

- 《注意》・素手での作業は火傷やケガの原因となる為、必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。

1. ②パフォーマンスダンパー (REAR) を⑨フランジボルトb (M10×35mm) 2本と⑪フランジナット (M10) 2個で⑤⑥リアブラケット (L/R) に仮締めする。
 ※取り付けるパフォーマンスダンパーを間違えないように注意すること。

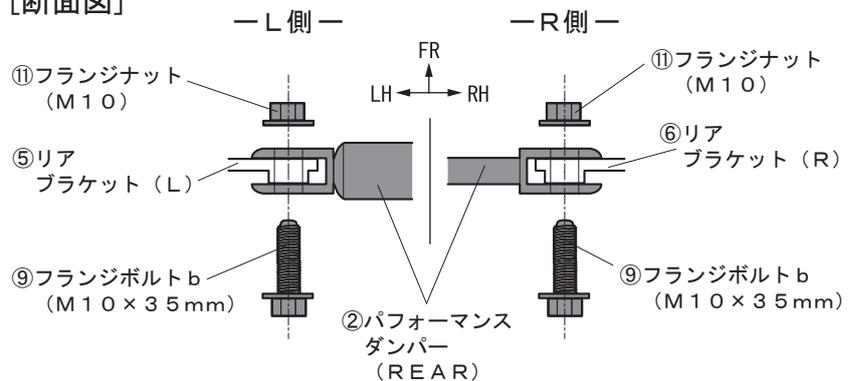
[使用部品]



注意

インパクトレンチ
使用禁止

[断面図]



2. 取り付け位置や各部に干渉がないことを確認する。
3. 車両を1G接地状態（タイヤ4輪が接地した状態）にし、IV-5で仮締めした⑩フランジボルトc（M10×25mm）片側1本、V-1で仮締めした⑨フランジボルトb（M10×35mm）片側1本を下記指定トルクで本締めする。

⑩フランジボルトc（M10×25mm）
締め付けトルク：40N・m

⑨フランジボルトb（M10×35mm）
締め付けトルク：40N・m

注意

車両（4輪）が水平な場所で1G接地状態で締め付け作業を行うこと。

4. IV-3で取り外したグロメット（再使用）を復元する。
5. 取り付け状態が完全か確認する。
6. リアフロアーアンダーカバー（ある場合）、リアバンパーを復元する。